演目の説明

鍾馗（しょうき）

人々を苦しめていた疫病神を鍾馗大神が宝剣と茅の輪を使って退治をする物語り。古くは、須佐之男命が唐に渡った時、虚耗（きょもう）という悪鬼を退治し、その怨霊が日本に渡って来て再び須佐之男命と戦うというストーリーでした。鍾馗はもともと疫鬼を退け、魔を除く神として中国で民間の信仰を集めていました。

見どころ

悠然としたスケールの大きい舞で、石見神楽。芸北神楽の花形とされる演目です！